

「Asian VC Network Forum 2010」開催

JVCAは、経済産業省やみずほ情報総研とともに、「Asian VC Network Forum 2010」を11月24日(水)・25日(木)に東京国際交流館(お台場)にて開催いたしました。日本で初めて、日欧亜より8つのVC/PE協会が参加し、アジアにおけるVC/PEネットワーク構築の課題や日本におけるオープンイノベーションの可能性などにつき議論を重ねました。また、国内VCが推薦するVB企業22社の事業発表会やブース展示、産業総合研究所見学ツアー等が各会場で行われ、多数の参加者を得て盛況のうちに閉会しました。



- ・ CVCA (China Venture Capital Association)
- ・ BPEA (Beijing Private Equity Association)
- ・ HKVCA (Hong Kong VC / PE Association)
- ・ KVCA (Korean Venture Capital Association)
- ・ SVCA (Singapore Venture Capital Association)
- ・ TVCA (Taiwan PE / VC Association)
- ・ JVCA (Japan Venture Capital Association)



■ 7つの協会によるパネルセッションの様子



■ VB企業22社によるプレゼンテーション・展示の様子

フォーラム概要

主催：同フォーラム実行委員会

(JVCA、経済産業省、みずほ情報総研)

場所：東京国際交流館(お台場)

参加者：参加者 484名(両日の延べ人数・速報値)
(一般 335名、出展VB・プレゼンVB 59名、来賓・理事・プレス 72名、海外 18名)



■ 基調講演するEVCA事務局長 ジョージ・ノエル氏

参加した海外VC/PE協会

- ・ EVCA (European Private Equity and Venture Capital Association)

成果

- ①各国/地域のVC/PE協会及びその業界の動向
- ②各国/地域のVC/PE市場やその政策俯瞰
- ③招聘VC/PE協会とのネットワーク構築
- ④日本国内でのVCやベンチャーへの関心を誘発

レセプション

また、初日夕刻には今回各国より招聘した海外のVC/PE協会代表者等および国内のVC業界関係者を招いたJVCA主催の「歓迎レセプション」を開催しました。

主催：JVCA、協賛：新日本有限責任監査法人
来客：約170人(来賓：北城日本IBM最高顧問、齊藤東証社長など)



■ 鏡開きをする各協会代表者

企画部

「第3回 中国・四国地区 VC トップ懇談会」開催

10月29日JVCAでは、昨年に続き中国・四国地区のVC各社のトップ(代表者)間の情報交流を目的として、リーガロイヤルホテル広島にて「第3回 中国・四国地区 VC トップ懇談会」を開催しました。

《懇談会プログラム》

1. 各社自己紹介
2. JVCA 協会活動の報告
3. 勉強会「リレーションシップバンキングと地方VCの在り方」(講師:アービームコンサルティング株式会社 顧問 多胡 秀人氏)
4. 自由懇談

《参加した中国・四国地VC》

いよぎんキャピタル・エス・ケイ・ベンチャーズ・香川銀キャピタル・ごうぎんキャピタル・広島ベンチャーキャピタル・山口キャピタル・フューチャーベンチャーキャピタル・三菱UFJキャピタル大阪支社・大和企業投資関西支社・四銀キャピタルリサーチ・九州ベンチャーパートナーズ・佐銀ベンチャーキャピタル・大分ベンチャーキャピタル、中国銀行、広島県商工労働局

《JVCA》

呉会長、安達副会長、市川専務理事、企画部各社の代表者に加え、オブザーバーとして多数の方が参加し、総勢31名での懇談会となりました。中国・四国地区と今回は九州地区のVC各社が抱える経営上の課題、取組状況などについて様々な観点で積極的な意見交換が行われ、共通の課題・問題への意識を高め合いました。

懇談会終了後の懇親会では、中国・四国地区VCを代表して、広島ベンチャーキャピタルの合谷社長の乾杯で懇親会が行われ、良い交流の機会となりました。



■第3回中国・四国地区トップ懇談会の様子

会計委員会

「IFRSにおけるベンチャーキャピタルの公正価値評価」セミナー開催

10月7日、新日本有限責任監査法人のVC&ファンド研究会を講師に、「IFRSにおけるベンチャーキャピタルの公正価値評価～IPEVガイドラインの概要と論点整理」と題したセミナーを開催しました。5時間を超える内容でありましたが、75名の参加者があり、来るIFRS適用に向けて業界内での足並みを揃える契機となりました。また、会計委員会として業界各社のIFRSや公正価値評価に対する対応状況や意見を把握することが出来たことは収穫でした。当日の参加者からはIPEVガイドラインへの賛同意見も多数見られた一方で、「まだ判断できない」とする声が多く、引き続き業界として慎重に判断していく必要

があると言えます。勉強会の要望も多く、今回を契機として監査法人等も交え意見集約に向けた活動をスタートさせたいと考えています。



税務委員会

未上場有価証券評価減の損金算入に関するアンケートを実施

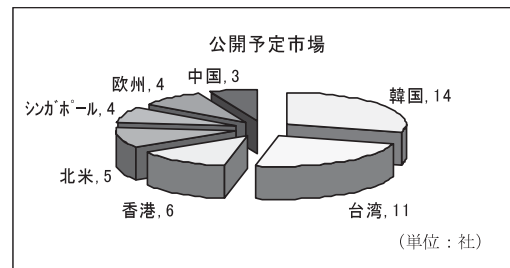
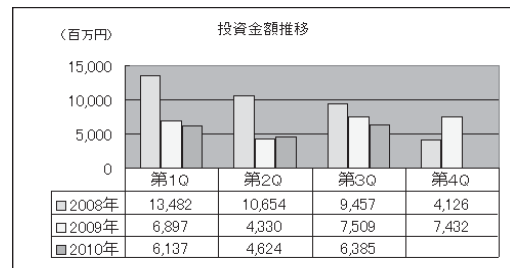
「平成23年度税制改正要望」でも要望として上げております「上場有価証券評価減の税務上損金算入」に関し、VC各社における実際の会計上・税務上の処理の実態や投資先企業の事例の収集などのより詳細な実態を把握することを目的とし、8月25日～9月1日にて会員向けのアンケートを行いました。会員VC全54社中23社から回答を頂きました。ご協力頂いたVC会社におかれましては誠にありがとうございました。後日、経済産業省に対し、アンケートの分析を踏まえた調査結果を提出すると共に、下記に関する前向きな検討を改めて要望として提出しております。①法人

税法基本通達9-1-11(基本通達9-1-7を準用)の「近い将来その価額の回復が見込まれないこと」の具体例をQ&A等の形式で明示して欲しい。②その際、未上場株式の特性を考慮し、我々が示した「実質破綻状態にある企業の定性的項目」を具体例として取り上げて欲しい。③監査法人による監査を受けている法人、または投資事業組合が会計上備忘価額まで評価減している銘柄についても損金算入できる具体例として取り上げて欲しい。今後も必要に応じて関係省庁と連絡を取り今後の展開を注視していく予定です。

調査・研究委員会

「2010年第3四半期（7月～9月）の投資動向調査」結果について

JVCAでは昨年度から四半期毎の投資動向調査をタイムリーに発信すべく会員からのアンケートに基づき調査を実施しています。また第3四半期については今後の投資方針についてのアンケートも併せて行いました。第3四半期の投資動向については第2四半期比（4月～6月）増加していますが、未だ本格的な回復には至っておりません。また今回のアンケートで日本以外の海外市場でのIPOを検討しているVBがどの市場を狙っているかを調査したところ、韓国、台湾、香港の順となりました。昨年が19社で今年も22社程度と日本でのIPOが低水準に留まっている現在の状況では、EXITの多様化としてアジアでのIPOにチャレンジする流れは今後も続いていくものとみています。この観点で調査・研究委員会では引き続きアジアを中心とした海外上場の勉強会を実施してまいります。



法務委員会

法制審議会動向と海外ファンド・ストラクチャー

9月6日（月）に法務委員会を開催しました。ここでは、法務省によって現在継続的に開かれている「法制審議会会社法制部会の報告と検討（第二回）」が議題とされました。この会社法制部会では「企業統治の在り方」や「親子上場に関する規律」など現在審議されているところですが、これについて、VC業界の代表として同部会委員を務めて頂いている伊藤忠テクノロジーベンチャーズ安達社長からの報告を基に、JVCA法務委員会参加者16名で議論したものです。

現会社法は、複数の法律に散在していた会社関

係の法律を一つに体系化して2006年5月に施行されたものですが、4年経過し、特に企業統治などに関する事項などに審議が加えられているものです。

また、12月22日（水）には「海外資金の導入に向けたファンド・ストラクチャーの検討」と題した勉強会を開催し、シャーマン&スターリング外国法事務弁護士事務所より講演頂きました。VCファンドへの国内投資資金流入が低迷する折り、海外資金導入を視野に入れたファンド組成構造について熱心な意見交換が交わされました。

広報委員会

JVCAの新事業案内書とホームページ

JVCAでは今年度より協会の「事業案内書」を刷新しました。日英両語表記とするとともに、デザインも暖色系のものへと一新し、増加する海外からの来客にも対応できるようにしました。

協会ホームページのコンテンツの充実化も図っています。会員専用ページでは個別IDの付与などを行い会員限定の情報発信を行いながら、一方

で情報セキュリティを向上させました。

また、ホームページのコンテンツ充実の一環として、コラム「疾風に勁草を知る」の掲載を継続しています。8月には國學院大學秦教授、10月には伊藤忠TV宮沢氏のコラムを掲載しました。是非、ホームページの調査報告のページをご覧ください。

企画部

経済産業省「海外VC市場調査」

JVCAは、経済産業省による委託事業「平成22年度アジア各国のベンチャー企業投資事例調査」を、みずほ情報総研（株）とともに受託しています。その一環として今夏、欧州やアジア主要国のVC協会を含むベンチャー政策機関などを訪問し、調査活動を行ってまいりました。①欧州調査では、欧州VC協会（EVCA）、GIMV社（大手VC）、英国VC協会（BVCA）、英国イノベーション省、英国財務省他を訪ね、②シンガポール調査

では、シンガポールVC協会（SVCA）、国際企業庁、MAS、EDB他、また③中国調査では、北京PE協会、国家発展改革委員会、中国VC協会（準備委員会）他などを訪問調査してまいりました。

これら調査は、11月開催のアジアVCネットワークフォーラム（AVCN）の構成に生かされ、また2月末を目途に進められている調査報告に反映されていく予定です。

JVCA からのお知らせ

1. 勉強会等のご案内

◆ JVCA 定例勉強会

原則として月1回、VC会員・賛助会員を対象とした勉強会を開催しております。
過去4か月間に開催された定例勉強会は以下の通りです。

第61回(9月27日開催)定例勉強会

テーマ 株式会社産業革新機構の投資事例のご紹介 ～設立からを振り返って～
講師 株式会社産業革新機構
ビジネス統括グループ企画調整室 ディレクター 中井 孝氏

会計委員会セミナー (10月7日開催)

テーマ IFRSにおけるベンチャーキャピタルの公正価値評価
～IPEVガイドラインの概要と論点整理～
講師 新日本有限責任監査法人
シニアパートナー 青山 裕治氏、パートナー 佐々木 浩一郎氏、
マネージャー 飯室 圭介氏
アーンストアンドヤング・トランザクション・アドバイザー・サービス株式会社
マネージングディレクター 中道 健太郎氏

第62回(11月9日開催)定例勉強会

テーマ パピレス：IPOまでの道のり
講師 株式会社パピレス
代表取締役 天谷 幹夫氏

第63回(12月22日開催)定例勉強会

テーマ 海外資金導入に向けたファンド・ストラクチャーの検討
～グローバル・ファンドレイジングに向けて～
講師 シャーマンアンドスターリング外国法事務弁護士事務所
池田 祐久氏 (パートナー)、エティレン ゲレンチャー氏、伊豆島 泰広氏

2. 会員の変更

【新規入会】

8月24日付 賛助会員 リーディング証券株式会社
12月14日付 賛助会員 株式会社東京証券取引所
12月14日付 賛助会員 スターティア株式会社
他、賛助会員 個人3名

【退会】

7月21日付 VC 会員 新規事業投資株式会社
7月21日付 賛助会員 アジャースト法律事務所・外国法共同事業
8月3日付 賛助会員 バリュエーション&リサーチ株式会社
8月10日付 VC 会員 株式会社ヴァスダックジャパン
他、賛助会員 個人2名

現状の会員数 VC 会員 54社 賛助会員 60社(名) 合計 114社(名)

日本ベンチャーキャピタル協会 ニュースレター No.26

■発行日 平成23年1月1日

■発行 一般社団法人 日本ベンチャーキャピタル協会

■編集 JVCA 企画部/事務局 杉田・上原・矢口・新井・寺竹

〒105-0004 東京都港区新橋1-1-1 日比谷ビルディング

TEL: 03-3595-6616 FAX: 03-3595-6617

E-mail: jimukyoku@jvca.jp URL: http://jvca.jp/